

■近衛篤磨 公卿出身の政治家。内閣を批判、大アジア主義・対露強硬策を主張して<日露戦争>を誘発、直前に早世。

このえあつまろ

8月18日政変 1863= 五摂家筆頭の家門近衛忠房の長子として京都に生れる、母は島津久光の娘光子。

明治維新・・・1868= 5歳：

学問のすすめ1872= 9歳：

明治6年政変 1873=10歳：\_父の死により、家督を相続。

西南戦争・・・1877=14歳：

琉球処分・・・1879=16歳：大学予備門に入ったが、  
・・・1880=17歳：病のため退学、以後和漢英の学問を独習する。

明治14年政変1881=18歳：

秩父事件・・・1884=21歳：華族令制定にともない公爵となり、  
内閣発足・・・1885=22歳：オーストリア・ドイツに留学、

ライプチヒ大学(ドイツ)を卒業して、

帝国憲法発布1889=26歳：

帝国議会始・・・1890=27歳：帰国。\*貴院議員となり、三曜会・懇話会・月曜会に所属し、指導者として活躍。藩閥勢力には批判的で、

足尾鉍毒始・・・1891=28歳：\_大津事件や、

大本教・・・1892=29歳：\_選挙大干渉事件では第1次松方内閣を糾弾し、

郡司千島探検1893=30歳：\_第5議会での条約励行建議案をめぐる紛争のさいも、第2次伊藤内閣を批判した。

日清戦争始・・・1894=31歳：

日清戦争終・・・1895=32歳：学習院長となり、没するまで華族教育の改革に献身する。

白馬会・・・1896=33歳：\*貴院議長。日清戦争後、「日清同盟論」を公刊、大アジア主義の見地から<同文同種・諸邦親善>を強調して  
東洋諸国の大同団結をよびかけ、大陸経営に強い関心を示し、

子規句歌革新1898=35歳：\_東亜同文会を結成して会長となった。

Bushidou・・・1899=36歳：

ビノ/国産化・・・1900=37歳：\_同会を国民同盟に改組して、「満州問題」の解決を主張し、

日比谷公園・・・1903=40歳：\*(対露同志会)を結成して対露強硬外交を高唱し、排外主義的世論の喚起につとめたが、貴族院議長辞任と  
ともに枢密顧問官となってまもなく、

日露戦争始・・・1904=41歳：\*日露開戦の直前に、没した。  
「近衛篤磨日記」。近衛文磨・近衛秀磨の父。